

東京病院ニュース

第 4 号

2002年 4 月発行



発行元 国立療養所東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 0424(91)2111 FAX 0424(94)2168
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>



(当院前庭の桜風景 原田診療部長撮影)

聖域なき医療制度改革

医療費の増大

かつてはその国の医療のレベルは乳児死亡率で推し量ることが出来るとさわれていました。日本の乳児死亡率は先進国のなかでも極めて低く冠たるものでした。国民皆保険制度により必要な医療が適切な費用でまかなわれていたために達成されたことです。しかし、国民人口の高齢化、先進技術の導入により医療費は年々膨張を続け、1995年には27兆円であったものが2000年には38兆円に達し、2010年には68兆円にと跳ね上がると予測されています。このままでは国民が負担する保険金だけでは医療費をまかないきれない事態つまり破綻が生ずると言うこととです。愁眉の的は限られた医療費をどのように効率よく運用するかにかかっています。

構造改革の必要性

現内閣の聖域なき構造改革はこの医療制度に対して根幹から改革を迫るものです。

つまり経済財務諮問会議の骨太方針の中で「医療サービス効率化プログラム」の策定として次のような方針を打ち出しています。①医療サービスの標準化と診療報酬体系の見直し②患者本

位の医療サービスの実現③医療供給体制の見直し④医療機関経営の近代化・効率化⑤消費者（支払者・患者・保険者）機能の強化⑥公民ミックスによる医療サービスの提供など公的医療保険の守備範囲の見直し⑦負担の適正化です。具体的にはたとえば①は医学的根拠に基づいて施行されている医療でないといと保険上認めないこと、治療成績等各医療機関が独自の情報を提供し患者はそれを根拠に病院や医師を選ぶ、また病名によって医療費の額を一律に決めることで無駄な治療の追加・検査・処置をさせないことなどです。⑦は来年4月より保険本人の負担を2割から3割に増加させることに代表される受益者の費用負担増を迫るものです。

これからの改革の方向

これからは各医療機関が特色のあるしかも効率の良い専門性を持った医療を提供するよう変革する必要があります。東京病院もこの様な問題に取り組み、改革を進めています。この東京病院ニュースからそれをくみ取っていただきたいと思えます。



診療部長 原田英治

よつごころー我が、東京病院へ：

ちようど当院玄関前にひろがる桜並木の花が満開の時、期待と不安で二杯の顔をした、新人たちが、満開の桜のように華やかな姿で、わが東京病院を彩ってくれています。

新人の中には、初めて社会人となる人や、すでに社会に出ていろいろな経験を積んでいる人もいることでしょうか、いろいろな意味で不安が一杯のことと思います。(こわい先輩がいたらどうしようとか・でも大丈夫、そんな先輩だって昔は新人)

さて、東京病院は今、激動の時期にあると思います。毎年春になれば桜の花が咲くように、おとなしく待つていけば春が来る、というようなわけにはいかない時期が来ているようです。(その方がよかつたりして：)

環境(世間)の変化に伴い、わが東京病院も変化していかなければならない状況にあります。そして長年の計画に沿って、手探りの状態ではありますが、今、まさに東京病院も変化をしているまただ中です。この春、晴れて東京病院に就職した人達、一刻も早くこの職場になじんでもらいたいと思います。

「なじむ」といつても、ただ東京病院の色に染まることではなく、今まで歩んできた自分に対しての自信を持ち、その自分らしさをこの環境の中でどのように生かしているかが、ポイントになると私は考えます。

今までは、与えられた課題をいかにクリアするかがポイントとなっていたのではないかと(私だけかも)と思いますが、これからは、



(本年度の新人職員)

課題を自ら発見し、解決策を見いだすことができるような、積極性のある人材が必要とされています。(若さが大事) そんな刺激を受けて、諸先輩達も一層の努力をすることでしょう。

病院(建物)も新しくなりつつあります。そして人もしかりです。今日に至るまで、諸先輩方が造り、そして守ってきたこの東京病院を、玄関前に連なる桜の花のように、輝かしいものにしていきたいですね。一年後には、「この病院に就職してよかった」と思えるような気持ち(前向き思考)で仕事に取り組んでいてもらいたい(他人事ではないのだが)と考えております。さあ、もう我が東京病院の一員としての新生活はスタートしています、私達と一緒にガンバッテ行きましょう。

(人事係 風岡隆史)

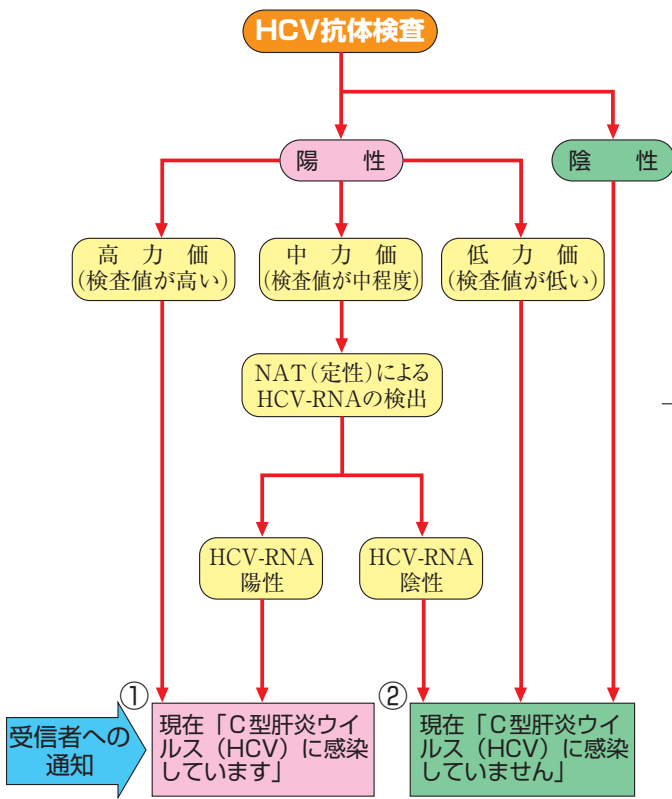
肝炎ウイルス検診が4月より実施(老健事業の検診の一環)

検診事業の説明

C型肝炎等緊急対策の一環として、全国に百〜二百万人いると推定されるC型肝炎ウイルスキャリアの早期発見と、医療機関への受診を勧奨するために実施されます。

老健事業の検診の対象者(40〜70歳)に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、70歳の節目検診にC型肝炎ウイルス抗体(HCV抗体)検査を実施、あわせてHBs抗原の検査も行いB型肝炎ウイルスの感染の有無も調べるものです。節目検診に該当しない場合でも過去に

C型肝炎ウイルス検査の判定方法



肝機能異常があるものや検診でGPT値により要指導とされたものも対象となります。受診者への通知はC型については図のように①現在「C型肝炎ウイルス(HCV)に感染しています」と②現在「C型肝炎ウイルス(HCV)に感染していません」のかたちで行われます。①の場合医療機関への受診を勧奨することになります。要医療の方はご相談下さい。当院では、以前よりB・C型肝炎ウイルス感染により病状のある患者様を肝疾患専門医療施設(厚生労働省の政策医療の一環)として受け入れ、専門医により診断、治療を行ってきました。この検診で要医療となった方々には治療の必要性の有無等、受診いただければご相談に応じます。(消化器(肝臓)科)

ようこそ栄養管理室へ

ハイイ、ぼく「ドツチくん」です。ぼくのことおぼえてますか？そう週一回お目にかかる選択食箱のことです。

今日は多くの職場 栄養管理室の紹介をします。ここでは、患者様約五五〇名余の食事を三六五日三食作っています。

栄養士が献立を作成、給食係長が見積（良いものを経済的に）発注（業者に注文）検収（品物の検品）調理師が調理・盛付・配膳をします。ざっと駆け足で業務内容を説明しましたが、わかっていただけでしたか。それぞれの職種が三味一体（？）となってコラボレーションの職場です。



栄養管理室スタッフ

食事作りで一番心がけていることは、安全で美味しいもの召し上がっていただくこと。それが病気の治療・予防につながるということです。食事は生きた栄養食事指導です。また食事は患者様とのコミュニケーションの場ともなります。

そして仕事をして行く中で励みになることは、患者様からの心のこもった手紙です。その中にはきびしい意見もありますが、これらをしつかりと受けとめ業務の中に生か

したいと思えます。

昨年は選択食の回数増・食札の改訂等がありました。今年も患者様サービスに向けてなお一層の努力を患者様に喜んでいただける食事を通して、病棟訪問や栄養食事指導に励みます。

最後にこのぼくの箱「ドツチくん」は栄養管理室と患者様をつなげる架け橋となりたいと頑張ります。どうぞ可愛がって下さい。

（栄養係長 田中徳子）

エネルギーセンター紹介

エネルギーセンターでは、ボイラーや冷水温水発生器等の熱源機器、給排水設備、医療ガス設備、発電機と排熱利用設備を組み合わせたコージェネレーション、受変電設備が24時間稼働しており、中央監視室では、院内全ての機械設備の運転管理と監視を行っております。中央監視室は防災センターにもなっており、12名が交代で24時間監視を行っております。防災センター要員は、日々の「受信盤、放送設備の操作訓練」と全員参加で「センター要員訓練」を毎月1回実施しております。

エネルギーセンターには管轄も入っており、建物の修繕や要望にに応じての製作も行っております。



全国の国立病院で初めて東京病院に導入されたコージェネレーションの特徴は、「省エネルギー性」に優れており「環境にも優しい」ということです。

発電機だけの熱利用効率は約30%のところ、冷暖房や給湯等に排熱を利用することで70〜80%に引き上げることが出来ます。都市ガスを燃料としているために硫黄酸化物の排出はなく、窒素酸化物の排出もごくわずかです。その上、省エネルギーによりCO2の排出量の削減に貢献しております。

エネルギーセンターの職員は、患者さんの「より良い療養環境の提供」と「安全の確保」のために日夜がんばっております。

（ボイラー技士長 田野幸雄）

世界を目指し37期生出発！

PTは信念！

早いもので、3年前に初々しくリハビリの世界に踏み込んだタマゴ達が孵化しようとしています。3年前は…そう若かった。これから起こる数々の難事件を予想だにできなかった。年々と経験を重ね成長してゆくタマゴは、何とか殻を破るところまでできました。

我々の頭は、ありとあらゆる知識のゴミ貯めと化しています。そう、まだ神経回路がつかないのです。そして、これから世界へ羽ばたくために臨床経験をつみ、大人へと変身を遂げてゆくことでしょう。いろいろな個性の集団「清瀬」はバラバラになってもここ故郷清瀬を思い出しながら成長するのです。

そう清瀬は黙ってチャイカン！（石川友衛生理学恩師の言葉）を信念に。

（PT 小川セツコ）

OTは個性を生かす！

37期生OTは男性が5名であとは皆女性。それぞれ個性的なカラーを放っています。

1年の頃は木工で白やきねなど、班毎に大作を作りました。2年では授業の内容がより臨床に近づき、9月には病院等で実習が始まります。メールで皆と励まし合い、終了後は各々が発表し理解を深めます。また作業分析では、夜遅くまで残って熱く語り合います。長い時間一緒にいるので皆の個性がよりはっきりしてきます。3年になると臨床実習があり、それが終わると怒涛のように卒論や国試対策などが押し寄せます。

ここには書ききれないほど色々詰まった3年間でした。4月からはいろんな色の個性を臨床の場で生かし、各々が目指すOccupational therapyを展開していきたいと思えます。

（OT 久利諭子）



(リ)ハ学院の玄関横の桜の木の下で

シリーズII 「カビ」

どうしてカビの病気になるのか？

梅雨時のことを思い浮かべれば、すぐわかりますが、空中にはたくさんのカビ真菌が浮遊しています。

お風呂場のように、一度それらのカビが壁や何かの隅につくと大変頑固に繁殖します。

人間の肺の中は湿度100%、気温37度で、本当は大変にカビが生えやすい環境です。

にもかかわらず、人にそう簡単にカビが生えないのは、人の肺は常に流入するカビや埃を、絶えず痰として外に出すエスカレーターが備わっているのと、それでも侵入してきたカビは殺してしまふ、たくさん細胞があるからです。

ところが、この二つの条件が壊れると、人の肺にはたちまちカビが繁殖し病気になるります。

AIDSになるとカビを殺す細胞が壊れているため、すぐカビに侵されてしまいます。

また、AIDSでなくても、肺や気管支が何かの病気で壊されていると、入ってきたカビを外に出すエスカレーターがうまく働かず、やはりカビによる病気になるってしまいます。

カビによる肺の病気

体の中にも起きるカビの病気で、日本で最も多いのはアスペルギルスというカビで起きる肺の病気肺アスペルギルス症です。

アスペルギルスは、お酒やみそ、しよゆ、鰹節を作る上で欠かせないカ



ビですが、人に病気も作るのです。

肺アスペルギルス症は、健康な人の肺にはめったに起きません。

昔、肺結核にかかって肺が壊れた人や、塵肺症、肺線維症、サルコイドーシス、気管支拡張症など他の病気で肺が壊れた人々に起きます。

カビが肺の壊れた部分にとりつくと、注意深くレントゲンを観察すればわかりますが、この段階では、ほとんど症状は出ません。

時には、非常にたくさんカビがついて、熱がでたり急に咳や痰が増えたりする事もあります。たいがいは気がつかないうちにカビは次第に増加し、昔できた空洞の壁を侵しつつ拡大してゆきます。この時に肺の中の血管を壊し血痰や咯血を起こします。もつとカビが増えると空洞の中でカビが球状に塊fungusballを作りレントゲンで非常に特徴的な影として見えます。

どうやって治療するか？

風呂場のカビのようにカビを退治するのは大変、困難です。

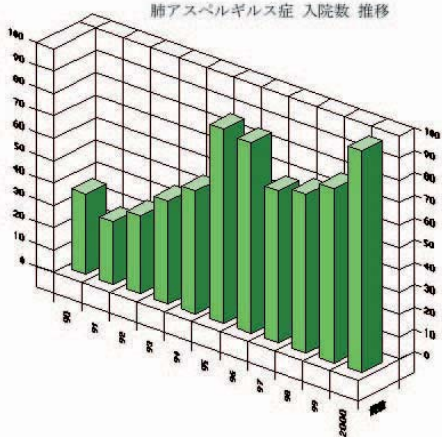
カビには普通の抗生物質はいつさい効きません。

カビ専用の薬をかなり長く服用する必要がありますが、やはり早く診断し、軽い段階から治療を始めれば、最近以前より強力な薬が登場したので治ることも期待できます。しかし、大きな病巣の場合や、咯血がひどい場合などは、外科的な方法も色々工夫されています。

国立療養所東京病院は、この肺アスペルギルス症を、ここ10年間で500例以上と、日本で最も多数の診療経験を持ち、肺アスペルギルス症の進展や治療に関して内科と外科が協力して研究を進めています。

(臨床研究部長 倉島篤行)

国立療養所東京病院 肺アスペルギルス症 入院数 推移



搬送カート現る!?

車椅子置き場に突如として現れたカートにお気づきでしょうか？
3月12日からお使い頂けるように準備いたしました。

毎日、看護師長がインフォメーションを行っている中で、入院や退院の時、お荷物の運搬を車椅子で代用したり、ご不自由をおかけしていることが時々話題になることがあります。このような時、スーパーマーケットの買い物カートを見て「これだ!」と思い提案したところ採用されました。

今では、「荷物が乗せ易くて良いね」「便利になりました」と喜んでお使い頂いております。

(看護師長 樋口裕子)



たかが花粉症 されど花粉症

—— 早めの治療で
上手にのりきる ——

ゆううつな季節

今年も2月上旬の外来診察の日に「この月曜日から鼻水とくしゃみや目がかゆくて。はじまりました。」と、いつも喘息で通院しておられる患者さんのはなしであった。始まったなと思っていたら次々と同じ症状の方がみえた。このように症状も始まり方もはつきりしている。比較的若い人に多く高齢者は少ないようである。日頃健康な人にも多い。鼻と目だけでなく、アトピー性皮膚炎のある人ではスギ花粉により症状が悪化することも多い。

スギ花粉症とは

スギ花粉症は1980年代以降増加が著しく、最近では人口の20%くらいの方が悩まされているといわれている最も有病率の高い疾患である。戦後スギの植林が増えたこと、排気ガスやジーゼル粒子の増加と関係があるといわれている。薬店には花粉症対策グッズがならび、大きなマスクにメガネといういでたちの人が街には見られる。季節が過ぎれば治るとはいふものの、草木が芽吹き、つぼみが膨らみ春を待つすてきな季節が憂鬱な季節となってしまう。スギ花粉は2月から4月にかけて沖縄、北海道北部・東部を除く広い地域で飛散する。前年の夏の暑さでスギの開

花が影響される。花粉の飛散は晴れた風の強い日に多く、曇りや雨の日には少ない。

花粉症は原因のはつきりしているI型アレルギー疾患である。診断はくしゃみ、鼻水、鼻閉、目のかゆみや痛みなどの症状と、血液中のスギに対する特異的IgE抗体検査で見当がつく。鼻水の好酸球というアレルギーの細胞を調べることも有用である。必ずしもスギだけではなくヒノキ、ハンノキなど他の花粉による場合もある。桜の木の下を通ると急に鼻水がはじまるという方もあった。

治療について (ご相談下さい)

治療は、抗アレルギー薬 (抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬など) 内服と、点鼻薬・点眼薬 (抗アレルギー薬、ステロイド薬、抗コリン薬) の局所療法とがあるが、症状に応じて使い分けたり併用したりする。早めの治療が肝腎で、症状の強い人では、花粉が本格的に飛散する季節に先立って薬物療法を行うことが勧められている。抗原 (花粉) を除去することはできないので、自衛手段としてはマスクやメガネの使用、晴れた日には布団や洗濯物を外に干さないことなどである。

抗アレルギー薬の中には抗ヒスタミン作用による眠気をもよおすものがあるので、内服時間を工夫したり、自動車の運転や、危険な作業に従事する場合は確認し注意を要す。お悩みの方は当院呼吸器内科・眼科外来へご相談下さい。

(呼吸器科医長 川辺芳子)

改訂版 「診療のご案内」 が完成

当院の診療内容等も、また外観も大きく変わってきております。

「患者サービス委員会」より改訂版の作成指示があり、さっそくとりかかりました。

作成にあたっての視点は、当然「患者様より選ばれる病院である。」ということ意識し

- 一、まず患者様が手にとっていたいただく為、ソフトで感じのよい表紙であること。
- 二、当院のキャッチフレーズが明確に出ていること。

医療 環境 このような心で
よい 環境 患者様と接します。
接遇

- 三、わかりやすい、コンパクトな形での診療内容の紹介を心がけたこと。
- 四、専門外来の内容紹介をおりこんだこと。

これらを、変貌した当院の病室、外観のフォットの中に配置し、「一目見ると、当院の性格・特色などが理解していただけるようにいたしました。

幸い、患者様方より好評のご意見をいただいております。担当いたしましたとしても大変喜んでおります。

この「ご案内」は、当院外来インフォメーションに配置することはもとより、地域の保健所・近接病院等の窓口等に配備 (おいてない所もあります) し、いつでも患者様がお持ち帰りいただけるようにしております。

(気のせいか、外来患者様が若干増えてきたように思います。——余談)



(内容面、細かくて申し訳ありません)



(裏面)



(表紙)

ようこそ栄養管理室へ

ハイイ、ぼく「ドツチくん」です。ぼくのことおぼえてますか？そう週一回お目にかかる選択食箱のことです。

今日は多くの職場 栄養管理室の紹介をします。ここでは、患者様約五五〇名余の食事を三六五日三食作っています。

栄養士が献立を作成、給食係長が見積（良いものを経済的に）発注（業者に注文）検収（品物の検品）調理師が調理・盛付・配膳をします。ざっと駆け足で業務内容を説明しましたが、わかっていただけでしたか。それぞれの職種が三味一体（？）となってコラボレーションの職場です。



栄養管理室スタッフ

食事作りで一番心がけていることは、安全で美味しいもの召し上がっていただくこと。それが病気の治療・予防につながるということです。食事は生きた栄養食事指導です。また食事は患者様とのコミュニケーションの場ともなります。

そして仕事をして行く中で励みになることは、患者様からの心のこもった手紙です。その中にはきびしい意見もありますが、これらをしつかりと受けとめ業務の中に生か

したいと思えます。

昨年は選択食の回数増・食札の改訂等がありました。今年も患者様サービスに向けてなお一層の努力を患者様に喜んでいただける食事を通して、病棟訪問や栄養食事指導に励みます。

最後にこのぼくの箱「ドツチくん」は栄養管理室と患者様をつなげる架け橋となりたいと頑張ります。どうぞ可愛がって下さい。

（栄養係長 田中徳子）

エネルギーセンター紹介

エネルギーセンターでは、ボイラーや冷水温水発生器等の熱源機器、給排水設備、医療ガス設備、発電機と排熱利用設備を組み合わせたコージェネレーション、受変電設備が24時間稼働しており、中央監視室では、院内全ての機械設備の運転管理と監視を行っております。中央監視室は防災センターにもなっており、12名が交代で24時間監視を行っております。防災センター要員は、日々の「受信盤、放送設備の操作訓練」と全員参加で「センター要員訓練」を毎月1回実施しております。

エネルギーセンターには管轄も入っており、建物の修繕や要望にに応じての製作も行っております。



全国の国立病院で初めて東京病院に導入されたコージェネレーションの特徴は、「省エネルギー性」に優れており「環境にも優しい」ということです。

発電機だけの熱利用効率は約30%のところ、冷暖房や給湯等に排熱を利用することで70〜80%に引き上げることが出来ます。都市ガスを燃料としているために硫黄酸化物の排出はなく、窒素酸化物の排出もごくわずかです。その上、省エネルギーによりCO2の排出量の削減に貢献しております。

エネルギーセンターの職員は、患者さんの「より良い療養環境の提供」と「安全の確保」のために日夜がんばっております。

（ボイラー技士長 田野幸雄）

世界を目指し37期生出発！

PTは信念！

早いもので、3年前に初々しくリハビリの世界に踏み込んだタマゴ達が孵化しようとしています。3年前は…そう若かった。これから起こる数々の難事件を予想だにできなかった。年々と経験を重ね成長してゆくタマゴは、何とか殻を破るところまでできました。

我々の頭は、ありとあらゆる知識のゴミ貯めと化しています。そう、まだ神経回路がつかないのです。そして、これから世界へ羽ばたくために臨床経験をつみ、大人へと変身を遂げてゆくことでしょうか。いろいろな個性の集団「清瀬」はバラバラになってもここ故郷清瀬を思い出しながら成長するのです。

そう清瀬は黙ってチャイカン！（石川友衛生理学恩師の言葉）を信念に。

（PT 小川セツコ）

OTは個性を生かす！

37期生OTは男性が5名であとは皆女性。それぞれ個性的なカラーを放っています。

1年の頃は木工で白やきねなど、班毎に大作を作りました。2年では授業の内容がより臨床に近づき、9月には病院等で実習が始まります。メールで皆と励まし合い、終了後は各々が発表し理解を深めます。また作業分析では、夜遅くまで残って熱く語り合います。長い時間一緒にいるので皆の個性がよりはっきりしてきます。3年になると臨床実習があり、それが終わると怒涛のように卒論や国試対策などが押し寄せます。

ここには書ききれないほど色々詰まった3年間でした。4月からはいろんな色の個性を臨床の場で生かし、各々が目指すOccupational therapyを展開していきたいと思えます。

（OT 久利諭子）



(リ)ハ学院の玄関横の桜の木の下で

アメリカの結核事情

本年3月17日から約1週間、アメリカの結核対策を見る目的でニューヨークとサンフランシスコへ行ってきました。

空港に着いてまず受けた印象は、どこも警官がいっぱいで警戒が厳重ということでした。去年の9月11日の同時多発テロ以来、空港、市役所、病院など公共的施設の警戒は日本では考えられないほど厳重です。セントラル駅には、行方不明者の写真がまだ出ていますし、中には日本人の写真もありました。アラブ系と思われたら最後、靴の底まで調べる検査から尋問もどきの厳しい質問まで覚悟しなくてはなりません。僕達も厳しく検査されるかとアメリカ人に聞いたところ、色が少しダークで背も高く、目鼻が大きいアラブ系の体格と顔貌を備えた日本人はまずいないから余計な心配はしなくてよい、と軽くいわれました。

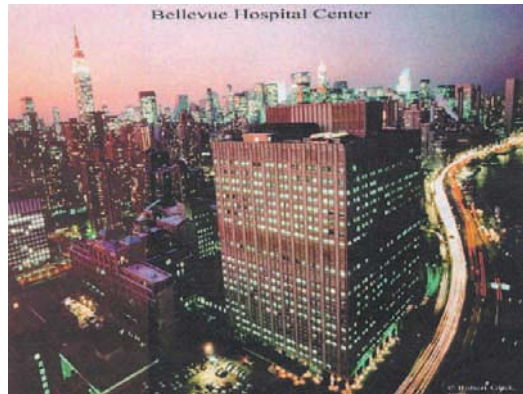
ニューヨークでは市立ベルビュー病院とDORISで有名なニューヨーク市公衆衛生局結核対策課を視察しました。ベルビュー病院にはホームレスシエルトーまで敷地内にあり、同市の住所不定の結核患者はほぼ全例が同院に集中しています。

病院に入る時、まず、受付の警備担当者に来院目的を説明しますが、その場で全員のカメラが没収されたのには驚きました。院内の撮影は一切許可なくしては禁止です。

ニューヨークは1987年から結核患者が急増し、再興感染症としての結核が一世に世界的に有名になる端緒となった都市ですが、その後の全市を挙げ

ての対応により、2001年には史上最低のレベルにまで減少しました。しかし、ニューヨーク市の結核対策費は日本円にして年間約40〜50億と聞き、唖然としました。因みに昨年の東京都の結核対策費は年間約6〜7億円でしたので、ニューヨーク市は東京都の約7倍に相当します。

サンフランシスコではカリフォルニア大学附属のGeneral HospitalとZanbun Tuberculosis Centerを視察しました。サンフランシスコの結核対



(ベルビュー病院全景)

策はしっかりしていて、1990年初頭のニューヨークであったような結核の急増はなく、ニューヨークは結核の封じ込めに成功したと威張っているけれども、もともと自分達の失敗を取り返しただけなのだ、と皮肉っていたのは印象的でした。要するに、結核対策費を急激に削減して、適切な対策を講じなかつたから、あのような悲惨な結果となったので、結核の急増は、市当局の行政施策が原因ということである

うと思われます。

今回の研修で感心したことは、アメリカは、やるとなったら徹底する点が日本と異なるということでした。ですから、必要とあれば思い切った手段をとることもやむをえないと割り切ります。この点は、きれいごとばかりで机上の空論が好きな日本人は、ある意味では反省すべきことと思いました。

(院長 毛利昌史)

東京病院の史跡

さるすべりの木

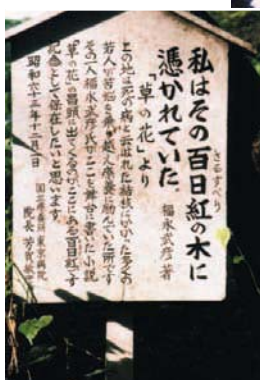
「私はその百日紅の木に憑かれていた。それは寿康館と呼ばれている広い講堂の背後にある庭の中に、ひとつだけ、ぼつんと立っていた。寿康館では、月に1回くらい、サナトリウムの患者たちを慰問するために映画会が開かれた。…」

福永武彦のもっともよく読まれている小説「草の花」の冒頭である。その百日紅が、現在は隣接する社会事業大学の運動場のむこうにある。東京病院の敷地の一部を売って社会事業大学がたつことになった昭和63年、当時の院長であった芳賀敏彦先生が記念の木として囲って説明をつけられたので、今も辛うじてそのままにある。

昨年の夏、久しぶりに見にいったところ、ちょうど遠方からこの木を見にきたという方に出会い、なんだかうれしくなったものである。その方は福永武彦が好きだと話してあちこちから木の

写真を撮って帰っていった。また福永武彦研究会というものが今もあって「草の花」の読み込みをされているということも最近知った。福永武彦は昭和22年3月、手術をうけるため当時の清瀬村の東京療養所に入所し、翌年に胸郭成形術をうけた。昭和28年に退院するまでの療養生活の間に小説や詩集や評論をたくさん刊行している。「草の花」は昭和28年に刊行された。舞台はここの療養所で、「私」と同室だった一人の患者が主人公である。同室者の会話、手術が局所麻酔で意識がはっきりしており執刀医との会話がかったことなど、その当時の療養所の風景や思いが目に浮かぶ。なお、俳人の石田波郷や結城昌治が入院していたのもこの頃で交流があったようである。

(呼吸器科医長 川辺芳子)



外来診療一覽表

平成14年 4月 1日現在

■ 一般外来

診療科名		月	火	水	木	金
内科	呼吸器内科	四元・町田 益田	馬場・赤川 永井・原	毛利・四元 倉島・長山 堀	川辺・鈴木 田中・是枝 高橋	河谷・田村
	消化器内科	上司・村田	福井	時田	原田	矢倉
	循環器科	瀬川		瀬川		
リハビリテーション科 (脳卒中亜急性期を中心)		新藤・柳原	新藤	柳原		新藤・柳原
神経内科		城山	栗崎	栗崎	栗崎	当番医
呼吸器外科(肺癌、肺気腫等)		当番医	相良・米谷	当番医	当番医	林・早川
消化器外科・一般外科		当番医	仙波・後藤	仙波・黒木	当番医	仙波・後藤・韓
眼 科		神谷・南波	神谷・南波	神谷	神谷・南波	南波
放射線科 (治療)		三上	三上	三上	三上	三上
放射線科 (診断)		堀部				

■ 専門外来 (当院独自の質の高い診療を推進しております。)

診療科名		月	火	水	木	金
肝	臓 外 来	上司・村田	福井	時田	原田	矢倉
呼吸器関係外来	息 切 れ	町田(午前)				
	喘 息		当番医(午後)			
	禁 煙					永井(午前)
	肺 腫 瘍 外 来				田村(午前)	
	間 質 性 肺 炎		赤川(午前)			
	非 定 型 抗 酸 菌 症			倉島(午前)		
	い び き				長山・町田(午前)・高橋	
手掌多汗症			相良・米谷			林・米谷
気 胸			相良・米谷			林・米谷
大腸ガン外来			仙波(午後)			新海・韓(午後)
糖尿病外来					矢倉(午後)	
緩和ケア外来(がん等)						三上(午前)

受付時間 8:30~11:00 診療時間 9:00~17:00

休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

代表電話番号 0424-91-2111

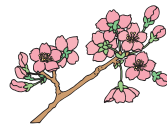
病床数

610床 (一般410床・結核200床)



診療内容

- 呼吸器科
- 消化器科(肝臓疾患)
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 内 科
- 外 科
- 眼 科
- 放射線科
- 緩和ケア科

環境

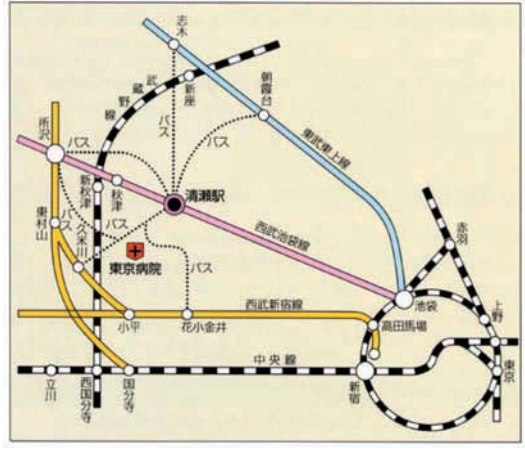
当院は、東京都の西北に位置し、周囲一帯には多くの雑木林が点在し、閑静で空気清澄な武蔵野の面影を今も残す恵まれた自然環境にあり、交通至便で医療施設として最適な環境にあります。

東京病院概要

- 西武池袋線 清瀬駅南口下車(池袋から準急25分)。清瀬駅南口からタクシー5分。徒歩20分。(西武バス)
- 南口②番乗り場から久米川駅行・下里団地行・花小金井行・所沢東口行に乘車、五ツ目(約5分)の東京病院前下車。
- 武蔵野線 新秋津駅からタクシー5分。徒歩20分。
- 西武新宿線 久米川駅、花小金井駅、所沢駅東口から清瀬行に乘車、東京病院前下車。
- 東武東上線 志木駅から清瀬行のバス路線があります。



交通



当院の位置